

# 令和5年度 5月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	16回
2	延べ従事補導委員数	24人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	254人



## 5月の補導日誌から

5月2日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 大宮諏訪神社 → 青沼児童館 → 羽黒山運動公園 → 白田駅  
**補導の様子**

青沼の大宮諏訪神社と羽黒山運動公園には、誰もいませんでした。青沼児童館では、10数名の児童が本を読んだり、友達と遊んだりして過ごしていました。低学年の女子児童から「誰?何しに来たの?」と屈託のない明るい笑顔で質問されました。質問に答えると納得したようで「あっ、そう」と言って去って行きました。これからも、今日のように様々なことに興味を持ち、たくさんのことを覚えて、成長して欲しいと思いました。児童館前の青沼保育園園庭では、砂遊びをする数人の園児のほかに職員とサッカーをやっている園児がいました。園児は、フェイントをかけて職員を抜き去るなど見事なボールさばきで、大人の職員を翻弄していました。この子のプレーを見て「将来はJリーガーかな」と勝手に想像してしまいました。児童館と保育園で素晴らしい子どもに接し、健やかな成長を願い、その場を去りました。

5月8日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 望月児童館 → 若駒児童公園 → 浅科小学校前 → あさしな児童館  
→ 浅科支所 → 高瀬児童館

**補導の様子**

五月晴れの青空に反し強い風もあり気温が上がらない肌寒い日、望月方面から浅科方面へと街頭補導を行った。児童・生徒が下校する時間帯でもあったが、下校する子どもたちの姿はまばらであった。望月児童館では、迎いの保護者や祖父母の方が玄関先で「寒いですね」とあいさつを交わし、子どもたちの様子を窓越しに見させてもらった。若駒児童公園へ立ち寄ったが、連休明けや寒さのせいか利用者はおらず閑散としていた。浅科小学校前を通る頃には通学路に10数組の児童の姿を見ながら、あさしな児童館へ立ち寄った。児童館前に制服を着た中学生の女の子が妹を迎えに来ていたようで、「お迎えに来たの」と声をかけると「はい」と答えてくれた。帰庁の道中、高瀬児童館へも立ち寄り、館長さんと話げできた。子どもたちは落ち着いており、低学年の5人の子どもたちが砂遊びをしていた。1年生の子どもさんは「学校は楽しい」と語ると、それに呼応なのか周りの子どもたちも「楽しいよ」と答えてくれた。連休明けの疲れもなく、元気な子どもたちを見ていると、私も元気になるのは嬉しい。

5月9日（火）

専門補導委員 記

**巡回経路** 中嶋公園 → 原公園 → 東田公園 → 高柳公園

**補導の様子**

乳幼児連れの母子3組が中嶋公園のお濠を眺めていた。母親は3姉妹で、子育てなどの相談やアドバイスをしながら子どもと一緒に散策中とのことだった。公園内では、20名ほどの児童が自転車に乗ったり追いかけてっこをしたりして楽しそうに遊んでいた。全員が5年生とのこと。四阿（あずまや）のベンチにカバンやペットボトルが雑然と置かれていたが、そのことに触れていないのに、一人の男子児童が「ペットボトルは、帰る時に持って帰るよ」と言った。さらにその少年は、「パパがお休みの時、パパと一緒に公園に来るよ。帰る時、落ちているごみを拾って帰っているよ」と話してくれた。すると、他の児童も「大谷選手は、グランドのごみを拾っているんだよ。俺もゴミ拾って帰るよ」と誇らしげに話してくれた。父親の行動や大リーガーの大谷選手の所作が、子どもたちに大きな影響を与えていることを知り、自らも襟を正さなければと思いながら帰庁した。

5月11日（木）

専門補導委員 記

**巡回経路** 成知公園 → 中込児童館 → 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園  
→ 横町公園 → 平賀新町公園 → 中込中学校 → 佐久総合運動公園

**補導の様子**

薫風を胸いっぱい吸い込むと、命の息吹を感じることができる。成知公園には子どもを遊ばせる若い母親たちの姿が見られた。1歳2か月の幼子を見守りながら、問いかけに応じてくれた母親は、「野沢から訪れているが、安心して子どもを散歩させたり、遊ばせたりできる」と話してくれた。公園を貫く舗装道路は、スピードを出して自転車が通行することがあり、注意喚起が必要だと感じた。中込児童館は、楽しそうな子どもたちの声に包まれていた。鉄棒で遊んでいた小学校1年生の女の子は、上手な逆上がりを披露してくれた。体育館では、多くの子どもたちがボール遊びをしていた。名簿には、1年生が27人、全体で74人の利用者が記録されていた。成田公園、橋場公園、水上公園、横町公園に子どもの姿はなかった。平賀新町公園に近づくと、道路でサッカー練習をする小学生が目に入った。道路では練習しないように注意すると「はい」と答えて、公園に移動してくれた。サッカーのチームに所属している5年生で、見事なボールさばきを見せてくれた。四阿（あずまや）でも5人程の小学生が、ゲームに興じていた。水田に映り込む春の景色を楽しみながら帰路を急いだ。

5月15日（月）

専門補導委員 記

**巡回経路** 砂田公園 → 大型スーパー（ゲームコーナー、フードコート）  
→ 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 近津南公園 → 宮ノ前公園

**補導の様子**

週末に降り続いていた雨もようやく上がったが、どんよりとした空からは、今にも雨が落ちて来そうである。大型スーパーの駐車場は、平日にもかかわらず混んでいた。買い物客の多さに比べると、ゲームコーナーやフードコートの客は少なめで、児童・生徒の姿はなかった。市民交流ひろばは、数組の親子連れが、天気を気にしながら思い思いに時間を過ごしていた。横浜から佐久市に転居して来たという若い女性は、双子の幼い姉妹の母親で、「佐久市は横浜より

便利で、とても生活しやすい」と笑顔で話してくれた。ヒジャブ（スカーフ）を着け、ベンチに座っていた女性に話を聞くと、「インドネシアから働きに来ているが、日本での生活はとても楽しい。3年後には国に帰らなければならない」とたどたどしい日本語で一生懸命話してくれた。近津南公園には、3人の小学5年生が、サッカーボールを持って友達が来るのを待っていた。専門補導委員であることを伝えると、「〇〇さんによろしくお伝えください」と礼儀正しいことばが返ってきた。5時まで遊ぶ予定だと聞いたので、安全に楽しむように伝えてその場を離れた。

5月16日（火）

専門補導委員 記

**巡回経路** 下の宮公園 → 旧切原小 → 稲荷山公園 → 城山公園 → 原公園  
**補導の様子**

下の宮公園の近くに来たところ、公園の方から大きな歓声が聞こえた。一昔前は、大勢の子どもが一つになって野球や缶蹴りなどをして遊んでいたが、最近は大勢ではなく1～2名あるいは数名でゲーム機を囲んで遊ぶ姿が多いと感じていた。ところが、公園に行ってみたところ、10数名の男子小学生が和気あいあいと歓声を上げながらキックベースボールをやっていた。私の子ども時代と同じ景色が目の前に広がっていた。ノスタルジーを感じながら、遠くからそっとその様子を見て、声をかけずその場を去った。3月に閉校となった旧切原小学校の昇降口の上に『最光』で『最幸』で『最高』の『最後』に」と閉校に向けてのラストイヤーへの思いを短い言葉にしたメッセージが掲げられていた。新しい学校でも切原小学校当時と同様『最光』で『最幸』・・・の小学校生活を送って欲しいと思い校門を後にした。稲荷山公園には、人影はなかったが、「桜からつつじ」へ「つつじから藤」へと花のバトンパスが確実に行われており、コスモタワー近くの藤棚には、紫色と白色の見事な藤の花が静かに揺れていた。

5月17日（水）

専門補導委員 記

**巡回経路** 中央公園 → 岩村田公園 → 王城公園 → 鼻顔公園  
→ 東児童館 → 旧志賀小 → 平根児童館

**補導の様子**

多くの小・中学校では、水曜日に職員会議が行われる。下校の様子を見届けるため、いつもより早めに街頭補導に出かけることにした。庁舎を一步外に出ると、真夏を思わせる太陽の光が照り付けている。今日は予報通り真夏日に違いない。岩村田の商店街では、下校途中の中学生を見かけたが、小学生の姿がないのを不思議に思った。王城公園から鼻顔公園に向かったが、人影はない。しばらく公園で待つと、水筒を肩から下げた3人の女子小学生がやって来た。水筒を机に置くと、さっそく遊具で遊び始めた。小学校3年生と5年生の姉妹、近所の2年生で、家から30分かけてこの公園までやって来たという。小学校が早めに終わったと聞き、街中で小学生の姿を見かけなかったわけを知った。東児童館は、1年生を中心に22名の利用者があり、「熱中症が懸念されるため、外遊びは控えている」とうかがった。平根児童館では、子どもたちは日向を避け、楽しそうに砂遊びやボール遊びをしていた。館長さんは、「子どもたちのマスク着用は規制していないが、職員はマスク着用で合意している」と話してくれた。コロナ感染症や熱中症など、気を抜けない毎日が続きそうである。



5月18日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 相浜 諏訪神社 → 今岡 諏訪神社 → さくらいこどもひろば  
→ 泉野団地内公園 → 泉団地内公園 → 城山公園 → 原公園

**補導の様子**

相浜諏訪神社と今岡諏訪神社を訪問したが、人影はなかった。「さくらいこどもひろば」では、滑り台で遊んでいる2名の幼児とそれを見守っている母親がいた。母親に伺うと「ここにいる年長児と2歳の子どもの他に、小学生の子どもがいます。子ども3人と一緒に来るともあります」とおっしゃっていた。また、子どもの様子や子育てについてお聞きすると「夫の両親と同居し、3世代で生活しています。義父母の理解があり、子育てを楽しんでいます」と話してくれた。母親と話をしている間、二人の子どもはブランコに行き、兄が弟の背中をそっと押してブランコを揺らすほのぼのとした情景があった。義父母に感謝しつつ楽しみながら子育てをしているとおっしゃる母親、そして、弟思いの兄の姿に接し、何とも言えない暖かい気持ちにさせてもらった。田植えを待つ水田の水面に映る「逆さ浅間」を横目に見ながら、ハンドルを握り帰庁した。

5月22日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐太夫町公園 → 中込駅 → 横町公園 → 水上公園 → 平賀新町公園  
→ 佐久城山児童館 → 中込中学校 → 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園

**補導の様子**

小雨が降っている。そのことは、車のフロントガラスの雨滴でわかる。念のため傘を持って街頭補導に出かけた。天気の子のせい、今日はどの公園にも全く人影がない。平賀新町公園から佐久城山児童館に向かう。下校の時間で、黄色いヘルメットをかぶった児童が歩道を歩いている。児童館の前は、スクールバスを待つ子どもたちで混雑している。スクールバスが発車するのを待つ児童館に入り、厚生員さんにお話をうかがった。「今日は5年生の社会見学で少なめだが、100人を超える利用者がある。普段は人数が多いため、小学校も利用して子どもたちの対応に当たっているが、保護者の迎えの来館連絡を職員同士で取り合うのに、トランシーバーを使っている」と仕事の手を止めて話してくれた。外の遊び場が使えない雨の日は、さぞかし大変だろう。中込中学校の校門付近に差しかかると、急に雨の勢いが増した。下校の生徒たちは一斉に傘を開く。校庭で部活動中の生徒も、あわてて校舎に駆け込んだ。雨が小降りになったころ、成知公園に車を止めた。いつも子どもの声が聞こえる四阿(あずまや)は、静まり返っている。しばらく雨音を聞いていた。



5月23日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → パチンコ店 → 小田井児童館

**補導の様子**

大型ゲームセンターは、普段よりも来店客が多いように感じた。客の多くは、成人であったが、幼児連れの親子や高校名入りのジャージ姿の男子高校生も散見された。次に訪問したパチンコ店は、空席が目立つ店内で成人客が遊んでいた。店長に青少年健全育成の協力依頼をし、お話を伺ったところ「未成年者の入場には気を配り、年齢確認のため身分証の提示を求めている」とおっしゃっていた。

小田井児童館の玄関に入るや、低学年の男子児童から「お久しぶり」と大人顔負けのあいさつをいただいた。記憶の糸を辿り、以前、小田井児童館を訪問した時、庭で化石があるかもしれないと目を輝かせながら一生懸命に化石を探していた児童だとようやく気づき「化石が好きな子？」と聞くと「そうだよ。忘れちゃったの？」と言われてしまった。今でも化石が好きで化石探しをやっているとのことだった。「大きくなったら何になりたいの？」の質問に「学校の先生」との返事があった。また、横にいた児童は「新幹線の運転手か整備士」と答えてくれた。このまま、素直で健やかな成長を願い、児童と再会を誓い児童館を後にした。

5月25日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 浅間地区内の公園(若宮・一本柳・砂田・佐久平南広場・やまぼうし・ねむのき・近津南・市民交流ひろば・ミレニアムパーク)

#### 補導の様子

本日、長野市内の小学校において、男子児童が敷地に侵入した男に液体をかけられたとの報道があり、岩村田・佐久平浅間小学校の通学路の警戒をしつつ、近くにある公園を訪問した。通学路は、ちょうど下校時間帯で家路につく、たくさん児童の姿があった。また、要所の交差点等では、児童の安全確保のため、見守り隊の方が献身的な活動をされていた。9か所の公園を訪問したが、下校途中であったためか、人影のない寂しい景色の公園がほとんどであった。市民交流ひろばでは、いつもなら母親と子どもの親子が多く利用しているが、今日は父子の親子が多いように感じた。「ママ友」ならぬ「パパ友」のような数人で話をしている男性に話を聞いた。この男性たちは「子どもが市外の私立小学校に通学しており、通学バスから降車した児童を公園に誘い、子どもを遊ばせながら父親同士で話している」とのことだった。これからは「ママ友」と同じように「パパ友」の知名度・認知度も上がるのではないかと感じた。

5月29日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 臼田駅 → 臼田小学校 → 下越児童館 → 稲荷山公園 → 下の宮公園  
**補導の様子**

小雨が降っている。南部交番前の信号を左折すると、臼田まではさほど遠くない。田植えの終わった水田には早苗が揺れている。臼田駅に近づくと、下校途中の小学生の姿が目立つ。雨の中、横断歩道には傘もささずに見守り隊の活動を行なう年配の男性を見かけた。新たに開校した臼田小学校の保護者は、子どもの登下校に不安を抱いていると聞いたことを思い出し、こうした地域ボランティアの活動をととてもありがたく感じた。下越児童館は、臼田小学校からは最短の場所にあり、利用者が急増したという。厚生員さんは、「30名近くの利用者がおり、スタッフの数を増やしてもらったが、子どもたちへの十分な対応は難しい。トイレが水洗ではなく、その数が少ないことや、外遊びができないことなど、対策に苦慮している」と話してくれた。さすがにこの雨では公園に足を運ぶ者はいないだろうと訪れた下の宮公園では、4人の小学生が、野球をやっていた。2年生3人と5年生で、グローブをはめてボールを追っていた。「大谷君？」と声をかけたが、反応はそっけなかった。



5月31日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 野沢中学校 → 泉小学校 → 城山公園 → 原公園  
→ 野沢児童館 → 中嶋公園

### 補導の様子

曇天で蒸し暑い午後だが、時折薫風が頬をなでる。野沢方面の歩道には、下校を急ぐ多くの小中学生の姿が見られた。いつもは多くの小学生でにぎわっている城山公園だが今日は寂しい。自転車でやって来た小学生に話を聞くと、ドッジボールをやる予定で、これから友達が来るのだという。木陰で休んでいた4人の女性は、散歩でよくこの公園を訪れるという。「散歩を通じて顔見知りになった仲間で、世間話をしたり、公園で遊ぶ子どもたちの様子を見たりするのが楽しい」とうれしそうに話してくれた。原公園では、子ども連れの夫婦が、のんびり時間を過ごしていた。バラの花がきれいに咲きそろっている。野沢児童館では、大勢の子どもたちが外遊びを楽しんでいた。「通常75人程の利用者があり、8人のスタッフでやりくりしながら館を運営している。安全に子どもを預かることを最優先としている」と館長さんが話してくれた。中嶋公園はひっそりとしていた。新緑の美しい公園をしばらく散策した。小鳥のさえずり、カエルの鳴き声、小川のせせらぎ。静寂に耳を澄ますと、清新な生命力を感じる。

## ＜5月の補導を終わって。 専門補導委員＞

風薫る5月もあっという間に過ぎ、田植えが終わった水田では、早苗が爽やかな風に揺れており、また水面には蓼科山・八ヶ岳連峰などの姿が映り、とても美しい景色を醸し出し、佐久は素晴らしい地域だと思うこの頃です。

さて、6月からは、補導委員の皆さまと専門補導委員による街頭補導活動が始まりました。各班の実施日・集合場所につきましては、すでにお渡ししてあります『巡回日程表』をご確認していただきたいと思っております。各班、毎月1回の活動がありますが、通常の街頭補導活動以外の当面の主な活動予定は次のとおりです。

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| ① 6月16日(金) 補導委員協議会理事会       | 理事      |
| ② 7月 3日(月) 街頭啓発活動           | 5班 6班   |
| ③ 7月 5日(水) 県推進大会(駒ヶ根市)      | 理事の一部   |
| ④ 7月 8日(土) 夜間街頭補導(中込 七夕まつり) | 13班     |
| ⑤ 7月15日(土) 夜間街頭補導(岩村田祇園祭)   | 7班 8班   |
| ⑥ 7月16日(日) 子どもまつり           | 理事      |
| ⑦ 7月20日(木) 学校訪問(野沢中学校)      | 10班 11班 |
| ⑧ 7月22日(土) 夜間街頭補導(野沢祇園祭)    | 9班 12班  |

また、8月には夜間街頭補導(臼田よいよさ、浅科どんどん、望月榊まつり)を予定しております。

間もなく(皆様のお手元に本紙が届く時には、梅雨入りになっているかもしれませんが)梅雨に入りうっとうしい日が続くかと思っておりますが、ご自愛を。

### 【お願い】

都合がつかず、やむを得ず街頭補導活動を欠席される際は、  
必ず少年センター 事務局 ☎0267-62-0671  
に電話してください。